

熱傷・薬傷症例検討会

産業都市特有の疾患に熱傷や薬傷があります。

鹿島臨海工業地帯ではこれらの事故はどのように発生していて、どのような治療が必要とされているのでしょうか。

神栖市若手医師きらっせプロジェクトでは、産業都市で就業する病院や診療所をはじめ、救急隊、企業のみなさんが、熱傷や薬傷のイロハを学び、非常時に備えておくことは、とても有意義であると考えました。そこで今般、当地域で生じた熱傷や薬傷の症例をもとに、搬送先の医師をお招きし、基礎的な勉強をする場を設けていくことにしました。医療人のみならず多くの関係者に開いた研修会です。職種を問わず、積極的なご参加をお待ちしています。

令和5年

9 / 22 (金)

時間 午後6時～午後8時

会場 神栖市はさき保健・交流センター
(神栖市土合本町1-8762-11)

講義
1

熱傷・薬傷の総論、 発生と初動・軽症例への対応について

たなか ひろし

神栖産業医トレーニングセンター 統括指導医 田中 完 先生



講義
2

熱傷の初期対応と 注意の必要な部位について

あずま しゅうち

国保旭中央病院 形成外科 医長 東 修智 先生



第1回症例検討会座長

鹿嶋ハートクリニック

さとう かずとし

副院長 佐藤 寿俊 先生

○対象者 市内病院・診療所の医師・看護師・コメディカル・事務職、
歯科診療所、薬局、企業、市修学生、救急隊など

○参加方法 会場参加 or ウェブ参加

○申込方法 右のQRコードから申込フォームへ

申込期限：令和5年8月31日（木）



●お問い合わせ

神栖市若手医師きらっせプロジェクト事務局（神栖市役所 地域医療推進課）

☎0299-77-8207 ※平日8:30～17:15

✉iryo@city.kamisu.ibaraki.jp